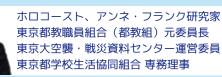


工藤 芳弘氏



アイルランドは、世界的に著名な作家を数多く輩出している国です。

司馬遼太郎は、「アイルランドは三百数十万という人口の国ながら、才能-とくに文学において は一途方もない大国である」(『愛蘭土紀行』)と記しています。

英文学における偉大な作家の出身地が、実はアイルランドだったということは、あまり知られ ていません。彼らの作品には、 ケルトの神話や民話が今も息づいています。また、その皮肉や風 刺には、隣国イギリスから長年受けてきた抑圧の歴史的背景があります。

そんな英文学の故郷ーアイルランドを訪ねてみませんか。 きっと新たな発見と感動があると思います。

芳弘 (講師/東京都学校生活協同組合 専務理事)

ケルトの神話や民話が今も息づくアイルランド、その歴史的背景と文学 ●

英文学における アングロ・アイリッシュの

偉大な作家たち

とき 2020.3/22 回 13:30 開始 13:00 開場

会場 エデュカス東京 5 階 B 会議室 会費 500 円 (資料代)

東京都千代田区二番町 12-1 エデュカス東京(全国教育文化会館)

【会場周辺図】

☎ 0120-800-535 携帯 03-3428-8041

URL > https://www.tokyogak.coop

FAX 0120-100-130

9284

郵便はがき

1548790

284

東京都世田谷区世田谷 1-41-12

東京都学校生活協同組合

英文学の故郷-アイルランド とイギリスの旅 係

իլի-իլիդելիկ-վիրդիկերի-րեգեգեգեգեգեգեգեգել

●のりしろ【下記「のりしろ」と合わせてください】

■学習会参加・ツアー資料請求申込書:英文学の故郷ーケルトの歴史と背景が 織り成す文学の地 (アイルランド・イギリス) の旅

	成りあり入子の追	() 170001	172	/ / (/ O) III
<所属>※ご退職の方は「継続」に○をお付けください				
	区市		₩.	継続
	町村		学校	
<ふりがな>		<職員番号>	>	
<氏名>				
<ご住所> 〒				
	<tel></tel>	>		
	<fax></fax>	>		

下記、該当の項目にレ点をご記入ください

□ 学習会参加	□ 旅行申込み希望
(3月22日)	□ 旅行問合せ(検討のた)

- ※「申込み希望」をご選択いただいた場合、正式申込に必要な書類を 担当旅行社からお送りいたします。
- ※「問合せ」をご選択された方には、旅行パンフレットのみのご案内 となります。

当「資料請求申込書」にご記入の上、郵送、FAX あるいは お電話にてご連絡ください

●**のりしろ**【上記のりしろ部分以外の糊付け不可】

工藤芳弘が同行・解説する都学校生協ならではの企画!『英文学の故郷ーケルトの歴史と背景が織り成す文学の地



ダブリン・ゴールウェイ・アラン諸島・スライゴーと ロンドンを訪ねるアイルランド・イギリス9日間

- 偉大な作家たち・・ジェイムス・ジョイスの「ダブ リン市民」、W.B. イエイツの「イニスフリー湖の 島」、ジョナサン・スウィフトの「ガリバー旅行記」 などが描かれたゆかりの地をめぐる!
- 専門講師による事前の学習と現地での解説による 有意義・充実の内容
- アイルランド最古の大学図書館「ロングルーム」 とケルト芸術の最高峰「ケルズの書」を見学
- 映画「アラン」の舞台となったアラン諸島のイニ シュモア島を終日かけて堪能





スケジュール / 食事 (朝昼夕) / 宿泊地

■集合: 羽田空港 (10:15)

■昼頃:羽田空港 (12:15)発 → 空路、ロシアの首都モスクワ (09h50m)へ

モスクワで乗継手続き〜モスクワ発 → 空路、ダブリン (1h15m)へ

■夕刻:専用車 🕶 にてホテルへ XHH

■午前: トリニティ・カレッジの訪問=アイルランド最古の名門大 学の図書館●オールド・ライブラリーとケルト芸術の最高峰『ケルズ **の書』とロング・ライブラリー**、大学入り口にたつ◎オリバー・ゴー

ルドスミスの像 ■午後:ダブリン文学探訪①=◎クライストチャーチ大聖堂、◎ジョ **イス**や**ワイルドの像**、イエイツやワイルドの住居跡もちかくにある◎

メリオン広場 75 75 75

■終日:ダブリン文学探訪②=●小泉八雲の家、◎聖メアリー大聖堂 スウィフトゆかりの◎聖パトリック大聖堂、●ジェイムス・ジョイスセ ンター、●ダブリン作家博物館、●キネス・ストアハウスと展望台、◎ ジェイムス・ジョイスの作品「死者たち」の家、『ダブリン市民』に登

場する●デイビー・バーンズ・パブ ダブリン 泊 ■午前:ダブリン文学探訪③=ジェイムス・ジョイスの◎『ユリシーズ。

のレリーフ、●ジェイムス・ジョイスタワー ■午後:ダブリン駅 (2等/13:25)発 ■列車「古代アイルランド」時代の

漁村ゴールウェイへ (15:40) 着

■着後:ゴールウェイ市内散策

■早朝:陸路 アラン諸島への玄関口・港町ロッサヴィールへ 港 (10:30)発 海路フェリーで最大のイニシュモア島へ (11:10)

■午後: **アラン諸島の島・イニシュモアの見学**=映画『アラン』の 舞台となった◎古代要塞ドゥーン・エンガスと断崖、◎オブライアン城 劇作家シングがゲール語を習得した◎シングのコテージ

■午後:港 (17:00)発 → フェリーで再びロッサヴィールへ (17:45)

~陸路、専用車 🕶 にて 9 世紀ヴァイキングによって開かれたイエイ **ツ**が愛した街スライゴー (約140%) へ

■午前:イエイツゆかりの地を見学=◎イエイツの像、●イエイツ館 ■午後:スライゴー発 陸路途中、イエイツの詩に影響を与えた◎ ベンバルベン (テーブルマウンテン) ~再びダブリン (約210%)へ

■夕刻: ダブリン空港 (18:00) 発 → 空路、イギリスの首都ロンドンへ

~着後 (19:25) 専用車 🕶 にてホテルへ

■午前:ロンドン文学探訪=◎夏目漱石の下宿跡、漱石が興味を持っ た◎ジョン・キーツ**の家、◎ディケンズ**ゆかりの**バ**ー

■午後:シェイクスピア・グローブ劇場の見学=当時を復元した● 劇場(グローブ座)、◎セントポール大聖堂

■夕刻: **OP ミュージカル**あるいは**演劇の観賞** (※内容未定)

71 F1 × ロンドン 泊

■午前:ヒースロー空港 (10:40)発 → 空路、モスクワ (3h55m)へ モスクワで乗継手続き~モスクワ発 → 空路、帰国の途 (09h30m)へ

11 ± ±

■午前:羽田空港 (10:30)着

5/24

5/25

■着後:入国手続き〜通関審査〜解散 * X X

●利用予定航空会対: アエロフロート航空 (スカイチーム)

※団体座席につき、事前座席指定は不可となります。出発当日に成田空港で各自チェック イン時に係員に希望をお伝えください(予約状況によっては希望が通らない場合有) ●宿泊予定ホテル:ダブリン(シルドロン★★★)/ゴールウェイ(マルドロン★★★)/ **スライゴー**(クレイトン★★★)/**ロンドン**(チェルシー FC★★★)※バスタブのない場合 があります。● 添乗員: 1名同行(羽田発着)

註:日程上の表記=●印=入場見学、◎印=下車見学、○印=車窓より見学、OP 印=オプショナル・ツア ● 印=機内食、 日 印=食事付、 日 印=自由食、 中 印=航空機、 日 印=専用車、

旅行手配

東京都知事登録旅行業第 3-6973 号 JATA 正会員 (株)ユーラストラベル 総合旅行業取扱管理者:榊原晋治

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 ユーラスツアース いちご三田ビル9階 **25** 03-6453-6633

https://www.euras.co.jp

tokyo@euras.co.jp

FAX **03-6453-6630**